

## 第 56 回愛山会ハイク(蔵王山)のご報告

- 1 目的地 蔵王山 (250.1m)
- 2 実施日 令和 5 年 5 月 3 日 (水)
- 3 天 候 晴れ
- 4 参加者 9 名  
加藤英治 近藤涼 柴田薫 神野秀雄 鈴木慎吾 多湖実松 津金倫明  
鳥山勇 壁谷宜男

### 5 当日の状況

3年前に計画した蔵王山ハイクが新型コロナ流行により、できずにいたが、やっと実施。旅行が解禁され、かつてない大混雑した豊橋駅改札口に9名集合。新豊橋駅に移動し、予定した1本前の渥美線に乗車。杉山駅を過ぎたところぐらいから、田原アルプスの最も東にある本日の目的地「蔵王山」が見え始める。神戸駅で下車。10時過ぎ五月晴れのもとでスタート。町中を30分程度歩くと、権現の森に到着。休憩所もトイレも完備し、ハイキングに来た多くの家族とともに登り始める。登山道は車道を含め3本あるが、登りは距離の取れる車道を選択。ゴールデンウィーク中ということもあり県外ナンバーの車も多くみられた。コンクリートの車道を歩いたので疲れたが、12時過ぎに頂上に無事到着。頂上には展望館があり、残念ながら当日は富士山は見えなかったが、条件がそろえば見事な富士山、南アルプス、湖西連峰など360度のパノラマが展開する。昼食後、三角点で写真撮影。すぐ近くに皇太子ご成婚記念の石碑もあった。下山はかなり急ではあったが中の道を降りる。30分程度で権現の森に到着。県立成章高校のグランド横から池之原公園にはいる。そこには渡辺華山が幕末に蟄居し、自害した住居が保存されている。「不忠 不幸」の大きな石碑もたっている。公園で15分程度休憩。華山神社、歴史博物館を見ながら田原城の正門前に着く。武家屋敷風の塀、華山が民のために食物を蓄えた「報民倉」の横を歩きながら、山車の庫を目指す。田原まつりに繰り出す大きな「山車」を無料で見学できる。ここまでくれば、田原駅まであとわずか。14時30分田原駅に到着。次回の山行を楽しみに渥美線に乗車。





(蔵王山を正面に望みながら、田原の街を抜けていく)



(蔵王山山頂から三河湾を見下ろす)



(蔵王山山頂から三河港方面を見下ろす)



(池之原公園内にある渡辺華山幽囚宅)



(城内に田原市博物館がある田原城跡楼門)



(田原まつり会館内に展示されている山車)